

第2回四国圏広域地方計画協議会 及び 四国地方の社会資本整備戦略会議 合同会議

議事要旨

平成21年6月8日（月） 13:30～15:00

アルファあなぶきホール5F 多目的大会議室「玉藻」

1. 開会

○四国圏広域地方計画推進室長（油谷）

ただいまから、第2回四国圏広域地方計画協議会及び四国地方の社会資本整備戦略会議合同会議を開催させていただきます。構成委員の皆様方には、ご多忙のところご出席を賜り、誠にありがとうございます。四国圏広域地方計画推進室長を務めております四国地方整備局次長の油谷でございます。よろしくお願いいたします。

議事の前に、合同会議の開催趣旨を資料－1で説明させていただきます。今回策定いたします四国圏広域地方計画は、四国圏の将来ビジョンとなるものであり、四国ブロックの社会資本の重点整備方針は、四国圏広域地方計画で示された地域戦略を実現するための手段として、社会資本整備の具体的方針を定めたものでございます。よって、両計画は緊密な連携の下で策定される必要がございますので、本日合同会議にて開催させていただきます。

協議会及び戦略会議の構成につきましては、参考資料1－1 四国圏広域地方計画協議会規則、参考資料1－2 四国地方の社会資本整備戦略会議開催趣旨をご参照下さい。

なお、本日の会議は公開とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

次に、構成員の皆様のご紹介は、お手元の出席者名簿と配席図にてご紹介にかえさせていただきます。

なお、四国圏広域地方計画協議会につきましては、本日は構成員総数29名の内、26名の出席があり、2分の1以上の出席となりましたので、四国圏広域地方計画協議会規則第5条により、本日の会議は成立していることをご報告いたします。本日は、オブザーバーとして国土交通省より金子副大臣、榊国土交通審議官、川本国土計画局長、下保総合政策局技術参事官の4名の方が参加されておられます。それでは、金子副大臣よりごあいさつをお願いしたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

2. 挨拶

○金子国土交通副大臣

ただいまご紹介いただきました、国土交通副大臣の金子でございます。今日は全国の中で、四国ブロックが第1番目でございます。その記念すべきといえますか、最初の会議に出席することができて嬉しく思っております。第2回四国圏広域地方計画協議会及び四国地方の社会資本整備戦略会議の合同会議が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げたいと思います。

本日ご出席の四国地域の各県、各市町村、経済団体等はじめご出席の皆様方におかれましては、日頃から国土交通行政に対しましてご協力ご支援を賜りまして、この場を借りまして心より感謝

を申し上げたいと思います。また、四国圏の広域地方計画並びに社会資本の重点整備方針の策定につきましても、多大なるご尽力をいただいております、重ねて御礼を申し上げる次第でございます。

現在、日本経済は世界的な金融危機を契機とした、厳しい経済雇用状況に直面する中で、政府といたしましても経済の底割れを回避し、将来の成長力を高めるために、この度総額約 14.7 兆円に及ぶ補正予算を成立させたところでございます。今後その計画的、機動的な執行を図り、早期に経済効果が発現されるように努めてまいりたいと考えております。

さて、我が国の国土政策の基本方針となります国土形成計画は、昨年 7 月に全国計画が策定され、また本年 3 月には、国土の基盤整備の方向性を示す社会資本整備重点計画が決定されたところでございます。これらの計画を踏まえ、現在地域の自立的発展のための将来展望を示す、広域地方計画及び地方の特性に応じた重点的な効率的かつ効果的な社会資本の重点整備方針の策定が進めておられるところでございます。四国圏におきましては、昨年 10 月に第 1 回の広域地方計画協議会が開催された後に、多様な立場の方々からご意見をお聞きするなど、精力的に検討が進められてまいりました。その中では、四国圏における将来像として、四国の面積の約 75% を占める森林との共生、きらり輝く技術力による産業クラスターや、豊かな自然と景観に恵まれた瀬戸内フィールドミュージアムの形成、安全・安心を基盤に快適な暮らしを実感できる地域づくりのあり方などが示されていると承知しております。今後の四国地域の整備の方向性が、明らかにされたものと認識しております。国土交通省といたしましても、ご出席の皆様方とともに、より具体的な地域の将来を展望した計画づくりに努力してまいりますとともに、その実現に向けたハード・ソフトの両面での推進を図っていく所存でございます。

最後になりましたが、ご出席の皆様方の益々のご健勝と、四国地域の一層のご発展を祈念いたしまして、国土交通省を代表いたしましてごあいさつをさせていただきます。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

○四国圏広域地方計画推進室長（油谷）

ありがとうございました。

これより議事に入りたいと思います。これからの進行につきましては、大西会長にお願いしたいと存じます。大西会長よろしくお願いをいたします。

3. 議事

(1) 四国圏広域地方計画について

・四国圏広域地方計画原案について

○大西会長

本協議会の会長を仰せつかっております四国経済連合会の大西と申します。皆様方のご協力を得まして、円滑に議事を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いを申し上げます。それでは、着席をして議事進行をさせていただきます。

それでは、お手元の議事次第に沿って進めさせていただきます。議事（1）四国圏広域地方計画について、議事（2）四国ブロックの社会資本の重点整備方針について、事務局より資料の説明をお願いいたします。その後、一括をして意見交換をお願いしたいと思います。

○事務局

[事務局より四国圏広域地方計画計画原案について説明]

[事務局より同計画に係る市町村計画提案について説明]

(2) 四国ブロックの社会資本の重点整備方針について

・四国ブロックの社会資本の重点整備方針（案）について

○事務局

[事務局より四国ブロックの社会資本の重点整備方針（案）について説明]

[事務局より同方針に係る市町村意見・提案について説明]

(3) 意見交換

○大西会長

皆様方にお配りをした資料は多岐にわたっておりまして、少し説明に資料がついていけなかった点があったかと思えます。大変申し訳ございません。もう一度資料をよく見ていただきたいと思うところがございます。

それでは、意見交換をこれから始めたいと思います。

四国圏広域地方計画、もう1つの議題でありました四国ブロックの社会資本の重点整備方針、この議事2題を通しまして皆様方からご意見を頂戴をいたしたいと思えます。

なお、ご意見で2つが完全に分かれなかもわかりませんが、ご意見はどちらについての意見であるという事を併せてお教えいただければと存じます。

それでは、どなたからでもご意見を頂戴したいと思います。よろしくをお願いします。

○加戸 愛媛県知事

今、拝見しておりまして、概要のほうは大変カラフルでパッと一目で分かるようによくできていて、本体の方は殺伐とした文章であり、概要の方が本番の形でポンと出てもいいんじゃないかって気持ちであります、よくまとめていただいてありがとうございました。

特に資料-5重点整備方針の7ページですが、ここに①世界に通用する産業の育成に資する交通機能の強化がございます。なによりも四国8の字ネットワーク整備というのが私どもにとりまして、「四国はひとつ」という概念のためには不可欠なものでもあるし、将来のこの地域の発展のために欠くことができないものだ。そのような認識で色々な形で整備を進めるにあたって基本となる、いうなれば最大の目標が四国8の字ネットワークという認識を持っておるわけでございます。ここに須崎市～四万十町、それから宇和島市～西予市という現在進行形の整備中の記載がございますけれども、なお、欠けた部分、特に車以外には交通手段を持たない愛媛県南部ならびに高知県西部の地域を繋ぐというルートが、一日も早く、一步でも先に進むということが私どもにとっても強い願いでございますので、まだ構想段階である津島道路を含めた今後の整備促進方について、特に今日お見えの金子副大臣はじめ国交省の幹部の方、強い強い認識をお持ちいただければありがたいと思うわけでもございます。

それと、資料-2の広域地方計画の14ページです。高速道路料金の割引の効果というのがここに書いてありますけれども、ここでは年末年始の数字を上げられていますが、5月の連休ではこの高速料金割引の効果は極めて絶大でありまして、四国地域への観光入込客数等々大幅に伸びている。そんな実態を見ましたときに、特に効果があったのは一定期間連続して割引が行われる。細切れではなくて、間のウィークデーも挟んで一定期間が割引の対象になったということが大きな相乗的効果をもたらしたと思っておりますので、連休は終わりましたが、この後でも、例えばお盆休みをはじめとした一定の期間またがった割引という、特にあの1,000円の効果というのが期待できると思えますし、その他に2年間の暫定措置として行われております今回の実験的な意

味の料金割引でありますけれども、願わくば継続・恒久化の方向へ向かってご検討いただければ幸いですと思うことを申し上げさせていただきたいと思います。

○大西会長

ありがとうございました。

○尾崎 高知県知事

短期間の間にこれだけの膨大な計画を取りまとめていただいたことには、本当に心から敬意を表したいと思います。また、コンセプト自体も四国が持っております自然や食材、そういうものを活かして、域内の交流のみならず域外との交流も活発化させていこうというコンセプトである。我々高知県も今、そういう形で産業振興計画というのをつくって取り組みを進めておりますが、まったく同じ方向であるということで、この広域計画に基づいて我々も然るべき役割を果たしていかなければいけないなど、そのように思っておるところであります。

そういう中でいくつか個別な話で申し上げますと、広域地方計画のプロジェクトの7番。中山間地域・島しょ部活性化プロジェクトということでありますが、こちらの方について、まさにこういう中山間・島しょ部地域、16ページの安全で安心できる生活環境をつくるということが、具体的取組内容の筆頭に上がっておるわけでございます。やはりそのあたりはビジネスチャンスの拡大うんぬんという話が出ておりますが、地域地域のものを活かした経済の活性化という課題が当然あるわけですが、その前提の問題として、この安全・安心の生活環境づくりということが大きな課題となっているわけでございます。この点について申し上げますと、色々な形できめ細かなインフラの整備、1.5車線の道路整備。これはもう着実に進め続けていくということ。それに加えてもう1つ中段のほうに医療の関係の話が出ております。医師不足に対する対策。今後医学部への定員、過去最高ぐらいに増えてはおりますけれども、どうしても地域的な偏在というのが残るのではないかということが、今後も懸念され続けるところであります。各県においても、県庁所在地周辺は増えても中山間地域は少なくなってしまうということになりかねないということでございまして、ここにも遠隔医療でありますとか、医師バンク事業でありますとか、いろいろな事業について例を挙げておられますが、こういう形での医師不足対策などの取り組み、今後ますます重要度は高まってくる。このプロジェクトの7の(1)、非常に重みが増してくるところではないかなと。具体的な取り組みの充実を継続的に続けていく必要があると、そのように思っております。

それと、20ページでございますが、黒潮洗う南海輝きプロジェクトということでございまして、こちら独立した項目としてプロジェクトを立てていただきましたことを本当に感謝を申し上げます。四国の中でも特に南海地域、高知県および愛媛県南部、それから徳島県南部の方、こちらは有効求人倍率も非常に低い、厳しいところだと認識をさせていただいてございまして、今後について独自の取り組みプロジェクトとして独立して立てていただいたことの意義は、ある意味、広域地方計画といいながら、町々に、地域地域に目を向けていただいたものとして、私は非常に素晴らしいことではないのかなと考えております。ふれあいとか、海洋資源を活かしていくとか、そういう取り組みを今後も進めていく必要があろうかと思う次第でございます。

最後に少し細かい話で恐縮ですが、11ページでございます。緑の島四国の森林共生プロジェクトについてですが、確かに今後CO₂吸収源としての価値に着目した取り組みでありますとか、林業の循環的利用である森林資源の循環利用でありますとか、美しい森林づくりということが必要になってくると思います。この森林づくりということをどう位置づけるかと。自然全体を守って

いくという中でどう位置づけるかといったときに、恐らくこの美しい森林づくり自体が全ての起点なんだろうと思うわけです。美しい森があるので美しい清流があって、そして美しい海がある。これこそが四国全域にとっての財産の中の財産ということではないかと思うわけであります。森について重点的に書いていただいて。すばらしいと思いますけれども、併せて清流を守っていくということ。これも四国の自然の三要素の重要な1つだと考えております。右側のほうに自然環境の保全、再生や河川への濁水流出防止等に資する、水源地保全活動等の推進ということを書いていただいておまして、私としても非常にすばらしいと思うわけでございますけれども、清流を守る、濁水流出防止を行っていく。このような点は重要なことだと思っておりますので、引き続き内容の充実を図っていただきたいと思う次第であります。

四国ブロックの社会資本の重点整備方針でございますが、先ほど加戸知事もおっしゃられましたように、まったく思いは同じでございます。四国8の字ネットワーク。こちらのネットワークの整備を図っていくということが、四国にとっては何としても重要だという思いでございます。その前提となる一部区間が、今、一時凍結になっていること自体、非常に我々としては遺憾でございますが、まずこの一時凍結部分の解消を早急をお願いしたいということが第一。そしてその上で四国8の字ネットワークについて言えば、残念ながらまだこま切れになってるといふか、整備率60%と。これを65%までということでございますけれども、最後の目標は100%であるということをよくよく明記をしていただいて、ミッシングリンクはなくすんだと。8の字でネットワークにするんだという意思を明確にしていっていただきたいと、そのように申し上げます。

○大西会長

ありがとうございました。

○徳島県政策監（武市）

先ほど加戸愛媛県知事、尾崎高知県知事もおっしゃったように、高知の南東部それから徳島の南部、これはまさに地域高規格道路でミッシングリンクになってございます。そういったことで四国8の字ネットワークの整備、近々に整備する必要があると思っております。いろんな命の道という観点からも必要でございますので、是非、金子大臣にはよろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、この広域地方計画の全体の話でございますが、本当に事務局におかれましては、四国4県の要望をまとめて検討していただきました。誠にありがとうございます。それで実はこの計画を決定された後、徳島県としても一生懸命やっていきたいと考えておりますが、ただ、たちまち現在が100年に一度の経済危機と言われており、そういったなかでの計画、いわゆる光の部分とそして陰の部分というのもまた出てこようかと思ひますので、そういった計画が変更できるような、あるいは進行管理をしっかりしていただいて、もし計画を変更するような場合でも機動的で柔軟な、あるいは迅速にできるような整備体制を是非よろしくお願ひしたいと思ひます。

それから2点目でございますが、実は観光ということが非常に我々の頭の中にあります。先般も本四道路の1,000円割引によって、実は5月2日に徳島県の鳴門で、どこの県から来たのかという車の調査をやりました。5月2日、鳴門で行った結果は、沖縄県以外の車が全て本県に来ていました。ということは、物流のみならず人の交流もすごくあるという観点での結果が出ております。そういった意味で観光というキーワードは本当にこれから重要だなど思ったところでございます。徳島も三好を中心に県西部でにし阿波観光圏、高知も四万十・足摺観光圏として認定さ

れています。観光庁ができ上がって、そういう取り組みが今後とも必要になってこようと思いますので、是非またそういった観点で、この広域地方計画の中にも少しその観点を強くしていただいたらと思いますので、是非よろしく願いいたします。

○大西会長

ありがとうございました。

○香川県副知事（高木）

まずは策定にご尽力いただきました大西会長をはじめ、事務局の四国地方整備局の皆さんには、心より御礼を申し上げる次第でございます。

まず、広域地方計画の中の 18 ページに、四国八十八箇所と遍路文化により地域をつなぐプロジェクトが盛り込まれておるわけでございますが、四国霊場八十八箇所と遍路道につきましては、四国 4 県が歩調を 1 つにして世界遺産の登録に向けて積極的に取り組むことにしているところでございます。こういった広域的な取り組みにつきましては、4 県だけでなく、関係の市町村、地域住民、民間団体、大学等、地域を挙げて連携して、四国が一体となって取り組むことが必要だと考えておりますので、国におかれましても引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

次に、今まで四国の他の 3 県からもお話がございましたが、本四 3 架橋の料金の引き下げの関係でございます。今回、徳島県さんからもご紹介ございましたが、香川県においても今回の引き下げの効果が数字となって表れており、私ども大変嬉しく思っているところでございます。これを追い風にして、どんどん地域活性化に向けた取り組みを進めてまいらなければならないと思っておるわけでございます。そういった意味で、今回と同様な料金の引き下げを継続して実施していただけるようお願いしたいということが一つです。それとあわせて、本州四国連絡道路の通行料金について、私ども前々からお願いしてまいったわけでございますが、ぜひ高速自動車国道並にさせていただきたいということを、この場をお借りして改めてご要望させていただきたいと思う次第でございます。

それともう 1 点、四国 8 の字ネットワークの関係でございますが、今回、高松東 IC～鳴門 IC 間の 4 車線化が決定されたところでございまして、国土交通本省並びに四国地方整備局の皆さんには、改めて御礼を申し上げる次第でございます。この 4 車線化は、地域経済の活性化や観光振興等の推進のために大変重要であると期待しておるところでございますので、早期の整備着手をぜひお願い申し上げます。

○大西会長

ありがとうございました。

4 県が終わりました。次にどなたからでもご意見を頂戴をいたしたいと思えます。

○俵 三好市長（徳島県市長会副会長）

私はせっかくの全国計画四国版でございますので、地元を中心に要望というかお願いをしたいと思っております。

1 つは、第一次の全国総合計画で拠点整備を進められまして、四国も飛躍的に発展をしたと感じておりますが、その後、度重なる全国計画の中で、先ほど光と陰の話が出ましたけども、私どもの三好市はまさしくその陰の部分が非常に今日大きな課題として残っておるところでございます。

そのいくつかをお願いをしたいと思っておりますが、1 つは市内を流れる銅山川の管理が上流

下流が国管理であって、中間の一部が県管理であるというようなことで、完全分水ということで、第一次全国計画において東予地区の発展のために水の利用高度化をされまして、そのときから完全分水が続いているというようなことで、是非とも維持流量というものを確保していただきたいということでもあります。

もう1点は、早明浦ダムから池田ダム間が県管理になっていますが、是非ともこの水の濁りといいますか、災害に対する取り組みもございまして、この管理につきましても上下が国でございまして、一括して国の方で管理をしていただきたいとお願いを申し上げるところでございます。

2点目は、過疎でございます。これにつきましては過疎対策をはじめ、様々な施策を積極的に展開をしていただきまして、今日過疎地でありましても快適で安全な生活を送ることができております。しかしながら、先ほどのご説明にございましたような色々な問題点があるわけでありまして、一番にはそこに住む人がいなくなる。これは国土の維持といいますか、国の様々な公的な役割を過疎地が果たしている訳であります。その中でやはり人が住めるような制度というものを確立していただかなければいけないのではと考えております。農水省の直接支払い制度等もございまして、これらの制度がより強く拡充されるような制度が敷かれることを望むところでございます。

3点目は、三好市はほとんどが森林でございまして、その森林資源がやっと一応拡大の時期を迎えたといわれていますが、なかなか財貨が上がらず、林業や木材産業に携わる人たちは非常に苦労しているわけでありまして、私は美しい四国、そして観光の四国といっているわけですから、是非とも四国固有の木造住宅が、木造建築が四国内でしっかりと建築をされましたら、全国や世界の人たちが四国を訪れて、新たに日本の文化や木の文化というものを再認識をしていただけるのではないかと。そういう為に、森林資源を大いに需要拡大すべきだろうと考えますので、この点につきましても1つお願いを申し上げたいと思います。

最後4点目でございますが、四国の山岳地にたくさんのダムを構築していただき、砂防ダムであったり、水力発電ダムであったり様々な機能を果たしておりますが、このダムが非常に堆砂問題で大きな悩みを抱えておるところでございます。本来のダムの機能が損なわれているというような感じがしてならないわけでありまして。この堆砂問題等につきましても、またそれぞれの関係部署で積極的にお取り組みをしていただきたいと考える訳でございます。

私からお願いばかりでございますが、ひとつよろしくどうぞお願いいたします。

最後に先ほど来、にし阿波観光圏のお話もいただきましたし、私どもが進めております景観の対策でありますとか、歴史まちづくりでありますとか、風景街道でありますとか、積極的に取り組んで四国の真ん中の観光地、そして過疎脱却のためにがんばってまいりますので、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

○大西会長

ありがとうございました。

○佐々木 新居浜市長（愛媛県市長会長）

私自身はこの会は初めて参加をさせていただきましたが、協議会の中で四国圏の将来像、また課題、そういうものをよく整理をしていただいていると思います。私からは、この会の計画の進行をこれからどのように担保していくか、管理をしていくかということで意見を申し上げたいと思います。

最後に計画の進行管理というのがあります。仮に今日の会が四国州議会だったら、これで決定したことは相当な重みがあるかと思いますが、これはそうではありません。今後、各省庁があり、各県があり、そこはまだ意識が統一しやすいでしょうけど、各市町村になりますとだんだん薄れてくるというのがこれまでの実態でございます。やはり自分ところの市や町に関係あるところは非常に興味がございますけど、そうでないところはやはりそうではないと。広域プロジェクトが10ありますので、どこかには自分の市は当てはまるだろうという意識はあろうかと思えます。そこでこれからの進め方の問題ですが、やはり全市町村対象に県単位になろうかと思えますが、市長会や町村会の会合の時に、この計画案をもう一度直接各首長に説明をしていただきたいということが1点ございます。

それと、今後このプロジェクトを進めていく場合には、当然プロジェクトにはプロジェクトリーダーが必要なんですが、誰がプロジェクトリーダーなのかというのが明確ではないのではないかと思います。それぞれ自立して連携をするとございますが、プロジェクトの中心かという人がいない。ですから、進行していく中で協議会の構成員、知事や市町村長がいつも来れませんから、現場のそれぞれの職員の代表者でかまわないと思いますが、やはりその事業を進めていくというワーキングチームのようなものを各プロジェクト毎に作っていく。うちの市はこのプロジェクトに入ろうとか、そういう様な部会が必要ではないかと思います。そうしていくことがこの事業に対する意識も高まりますし、実行もしていく。仮に今、追加の補正予算で、国の各省庁と事前の打ち合わせなどをする場合も多いんですけど、これの広域プロジェクトに当てはまる事業についてはそういう特別な配慮がなされるというような、とにかくこれを実行していくための様々な具体的な施策や財源を担保していただきたいということをご要望申し上げたいと思います。

愛媛県市長会としては、要望しておりました道路や港湾、耐震工事そういうもの、ハード・ソフト含めて取り入れていただいているということで感謝をいたしております。

○大西会長

ありがとうございました。

○小國 多度津町長（香川県町村会長）

前回出席させていただいて、いいまとめをしていただいたと思っております。

この裏づけとなる財源が、これから大変だなと思いつつも期待をしておりますが、こういう重点戦略の中で、色々なまとめの中で小さな町のことでございますから、お願いをするのは予算をきめ細かく見ていただきたいなと思います。

それは、例えば重点戦略の中でも交流を深める地域づくりというのが、経済あるいは企業の場合でなくて、私どもの小さな町でもそうですけれども、だんだん高齢化、少子化時代ということで、家族単位が小さくなってきていると思います。少子化で1人か2人の子どもたち。だから昔と違って家族関係がだんだん淡薄になっていく。そういう中で、将来ある子どもたちが成長するには交流が大事だと。春休み、夏休み通じて子ども会、あるいはスポーツ少年団を通じて他県の人たちとの交流会、それはホームステイをさせよう。1日2日あれば子どもはまったく兄弟のように、別れるときには大変です。そういう良さを、素直さを子どもたちは持っているわけでありまして、私どもが約20年下水道整備事業を急いでるわけですが、それはホームステイの受け入れにあたっては、トイレの問題がどうしても田舎のほうではあります。トイレが整備できていないご家庭の人は嫌や、駄目だと。もう今ですからお風呂はどこの家庭でも持ってますけれども、トイレが駄目だから人の受け入れは嫌だと、できない。そういうところから、私どもは下水道整備を急

いできました。今はそれぞれの家庭でそういう交流会に参加してもらって、子どもたちの受け入れをもらう。それはホームステイが一番そういう交流事業としてはいい。そして、これは四国4県の知事さんもよく触れられますが、お接待の心でそういう人の優しさはどこも持っているんだと思うのです。だけど、それを取り組むきっかけが、私はそういう家庭の備えの中に1つあったということを感じております。そういうそれぞれ町の位置づけとして人からの良さ、そして交流を子ども達の為にそれぞれ大人が役割を果たしていくと。こういう事をすれば、これが町の活性化にもなっていくし、子どもの教育環境の上でも大いに私は子どもたちが成長していく、こう思って私の町はそれを続けてるわけでありまして。そういう意味で小さな町が下水道整備といっても24,000人の町でやっと合併式も含めて整備率が65%ぐらいになってきましたけど、100億の借金を下水道事業だけでも持つようになっていく訳でありますから、それぞれの地域が地域にあったように市町が生き残っていく。それはやはり人との交流、物流だけじゃなくて、人の交流を広く残していく。そして今はもう高速道路が整備されてきましたから、私どもの交流をしていると、富山県もそうですけど、富山県からでも高速道路一本ですぐ来れます。そういう様に非常に4県ともそうだと思いますけれども、動きが早くなりましたから、そういう人の交流という点で、それぞれの町が生き残っていくように人との交流を続けていきたい。そういう思いを持っておるわけで、どうぞきめ細かい予算配分をお願いしたいと思っております。

○大西会長

ありがとうございました。

○白石 松前町長（愛媛県町村会長）

前回に続きまして、今回まとまったものを見せていただいて、本当に今の四国の抱えている現状がほとんど網羅されてるなという感じがいたします。と同時に、香川県町村会長が言ったように、これをやるには相当お金がかかるだろうなということを考えると、かなり暗澹たる思いがしますけれども、ただ、現状の社会資本の整備、もちろん道路とか防災いろいろありますけれども、たまたま時期的に梅雨前で水不足が、特に愛媛県松山市は、10年ぐらいで大体1回ぐらい空の渇水になりますけれども、今年は非常に雨が少なく、もう給水時間制限しないといけない状況になってまして、今、高松がどういう状況かわかりませんが、以前から四国は高松もかなり渇水がありました。そういう意味でやはり「四国はひとつ」と言うのであれば、水については四国の県民がこぞってどこに行っても水ぐらい飲めるという。それともう1つは、観光なんか考えた場合に、水がないというのはなかなか人が来ません。水のないところなんか行かないというのは大体常識ですから、そういう意味では確かにこの中に渇水に強い地域づくりと1行だけありますけれども、やはり水問題については、四国全体で取り組むべきではないかなという感じがいたします。

それから、やはり「四国はひとつ」という以上は、何と云っても四国霊場八十八箇所が私が一番代表するものだと思いますけれども。この間、新聞を見てましたら、「世界に通じるお遍路に」ということで、香川県宇多津町と、愛媛県愛南町が外国の世界遺産のところと交流を始めると、四国地方整備局が主導してるというように書いてありますけれども、「四国はひとつ」であると同時に、こういった世界遺産に登録してもいいようなこういったものを、もっともっと世界に広げていくぐらいの大きな気持ちでやっていくのがいいのかなという感じがいたします。いつも言うように、四国の4県の県民はなかなか1つになりにくいところがありますので、是非、四国霊場八十八箇所ぐらいではひとつに団結をして、世界に発信していくと。そんなような姿勢があるのではという感じがいたします。

いずれにしても、現状にしても将来にしても、まさにここに網羅されている通りだと思いますけれども、これから取り組んでいくときは、十分な役割分担をして、社会資本の整備、現状の打開についてやはり国、県、市町村、行政が中心になって、そして「四国はひとつ」という分においては、やはり県民、民間団体を含めた四国に住む人たちが1つになる。そういった実行体制が必要なのかなという感じがいたしましたのでよろしくお願いします。

○大西会長

ありがとうございました。他にご意見ございませんか。

○吉岡 越知町長（高知県町村会長）

この内容は素晴らしく網羅をしておられると思ひまして、大変感心をいたしました。ただ何人かの方がお話いたしましたけれども、どうスタートするかというところが、一番問題になるのではないかと思います。

例えば、先程もこのプロジェクトのリーダーはという質問もありましたけれども、実際問題、ひとつで四国がまとまっていこうということになりますと、もっと具体的な組織づくりがいるのではないかと思います。例えば4県の知事、当然責任者であります。その下になんらかのもっと推進するチームが手を組んで、それぞれの力を合わすという具体論をこれに入れていただきたいなと思います。

これは、内容は素晴らしいですし、そして各地域地域、各県の現在やっている事業、それぞれ魅力のある内容たくさん載っております。それをもっと隣の県、また隣の県がお互い助け合って、力合わせて伸ばしていくということが恐らくこの最後の目標だろうと思ひますので、ぜひ組織づくりをお願いしたいと思ひます。

○大西会長

ありがとうございました。

ご意見は大分いただきましたが、そろそろ予定時間も迫ってまいりましたので、今まで頂戴をした意見について国土交通省の方で何か意見出しありますか。ご意見がありましたら。

○四国圏広域地方計画推進室長（油谷）

沢山のご指摘ご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

この計画の中で、重点的に強調してやっていけないといけないこと、また十分に書き込めてないところ、いろいろご指摘いただきましたけれども、さらに今後検討作業を進めていきたいと思ひます。また、いくつかご意見をいただきました今後の推進体制でございますけれども、実はこの策定作業の中でも推進の枠組みについて一部議論をさせていただいております。今後、計画が策定しました暁ということになりますけれども、その際にはまた関係の協議会メンバーはじめとする、関係の方と協議連携させていただいて、今後プロジェクトをどうやって具体的に実行していくかという枠組みについてご相談、ご協議をさせていただきたいと思ひます。

(4) その他

○大西会長

はい、ありがとうございました。他にご意見等はございませんか。

それでは、まず議事(1)の四国圏広域地方計画についてでございますが、本日頂いたご意見や、先に頂いております学識者会議での意見。これからパブリックコメントに付すわけでございますが、パブリックコメントによるご意向等々を踏まえ、国土交通省において、まとめて最終案

を作成をしていただきたいと思います。

なお、パブリックコメントを求める案につきましては、本日皆様から頂いたご意見は、この時点では反映することができませんので、お渡しをいたしました原案を基にパブリックコメントを頂戴をして、学識経験者からのご意見、その他も含めて修文をする必要がございましたら、その修文した内容をそれぞれの協議機関の方へお示しして、最終的な決定をしたいと考えています。

本協議会としての協議結果の取りまとめにつきましては、必要な修正を各構成機関にもご確認いただいた上で、改めて協議会はまだ開催をいたしませんので、私、協議会会長から国土交通大臣に回答をさせていただくことでよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声あり>

○大西会長

ありがとうございました。それではその様にさせていただきますと思います。

また、市町村からの計画提案の対応につきましては、本日の資料のとおりでよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声あり>

○大西会長

ありがとうございました。それではその様にさせていただきますので、よろしく申し上げます。

次に、議事（２）の四国ブロックの社会資本の重点整備方針についてでございますが、本日頂いたご意見や、これからのパブリックコメントでの内容を踏まえて、国土交通省において重点整備方針の最終案を作成することになっております。

なお、パブリックコメントを求める対象となる案につきましては、先の広域地方計画と同じように本日の四国ブロックの社会資本重点方針（案）により行いたいと思いますのでご了承頂きたいと思います。

必要な修正につきましては、各構成機関にもご確認頂いた上で、四国地方整備局で取りまとめて参ることでよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声あり>

○大西会長

ありがとうございました。それでは、その様にさせていただきますのでよろしく申し上げます。

それでは最後になりましたけれど、国土交通省から金子副大臣、榊国土交通審議官がお見えになっておりますので、今日の会議を通して何かご意見等ございましたら、一言お話をお願いしたいと存じます。

○金子国土交通副大臣

本当にお忙しい方ばかりでございまして、このようにご出席をいただきまして、また、貴重なご議論またご意見を賜りましてありがとうございます。

この協議会において、大西会長を中心にして取りまとめいただきました。また今後のパブリッ

クコメント等々も含めた進め方についても、取り組みをいただいたわけであります。先ほど具体的な進め方等々につきまして、事務局からもご説明しました通り、今後とも協議会とご相談申し上げながら、具体的にどう進めるべきかということも含めてご示唆をいただければありがたいと思います。

また、先程それぞれ知事や市町長からお話がありました、特に8の字ネットワーク、道路整備の問題についてお話がありました。確かに本当に生活を支える上でも、あるいは経済を地域を発展させる意味でも、社会資本整備、道路も含めてでございますが、全てこの社会資本整備というのは必要だと思います。特に個別に8の字ネットワークのお話があつて、整備率を100%に早くしてくれということもございました。

またB/Cの問題で凍結になった路線があるということで、6月中には四国地方整備局内において事業評価監視委員会を開いていただいて、今ある3便益以外にも命や防災やそういった便益があるのではないか、あるいはコストの問題も含めて6月中には審議をしていただいて、できるだけ早く取り組んでるところでございます。

また、高速道路値下げの問題についても、確かに効果が出ておまして、観光を含めて色々な意味で先ほどお褒めのお言葉いただいて、私たち自身もよかったなと思ってるわけですが、今後のことにつきましても国交省としましても、皆さん方の貴重なご意見をいただきながら、どういう形で実現できるかということも含めてがんばってまいりたいと思います。

今後ともご指導いただきますようによくお願い申し上げまして、私からの御礼とコメントとさせていただきます。ありがとうございます。

○大西会長

ありがとうございました。

○国土交通省国土交通審議官（榊）

本来申すべき事柄全部、副大臣のほうで言っていたいておりますので、私のほうからは申すようなことはございません。

1つだけあえて申しますと、市長の方から今後の推進体制をというお話が出たのは、非常に私としては嬉しかったんです。この協議会というのは、国の機関も全部入っていただいて、国も県も市も連携するよにとということで始めた協議会だったと。それで、つくった絵を、絵に描いた餅にしてはいけないというのをどこの協議会に行っても最初に私は申し上げておりました。それを市長の方から「やっぱり良い計画だからやっていこうよ」ということを言っていたいたというのが、国の立場の私としては非常に嬉しかったということでございますので、副大臣が申し上げましたように、今後これをきっちりまとめ上げた上で、これをどうやって守り育てていくというか、計画を実現させていくかということが、実は一番大事なことでございますので、そういう方向でも一生懸命努力をしてまいりたいと思っておりますのでございます。本当にどうもありがとうございました。

○大西会長

ありがとうございました。

本日は皆様方からご熱心なご意見をいただきまして、ありがとうございました。これにて本日の議事は全て終了をいたします。司会を事務局へお返しをいたします。

4. 閉会

○四国圏広域地方計画推進室長（油谷）

大西会長ありがとうございました。長時間にわたりご議論をいただきまして、誠にありがとうございました。本日いただきましたご意見など踏まえ、今後、四国圏広域地方計画並びに四国ブロックの社会資本の重点整備方針の策定に向けて作業を進めさせていただきます。これにて第2回四国圏広域地方計画協議会及び四国地方の社会資本整備戦略会議 合同会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

○大西会長

どうもありがとうございました。